

(参考)

宮崎県文化賞受賞者（平成元年度以降）

【学術部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
元	續 栄治	51	宮崎大学 農学部助教授	香り米の特性に関する研究を行ない、新品種「日向かおり」及び高タンパク性新品種「ヒムカライス」を育成して本県文化の向上に寄与した功績	
3	南谷 忠志	50	宮崎西高校 教諭	オナガカンアオイやミツバツツジ類をはじめ多数の植物の新種を発見するとともに、宮崎の水生植物の検索を行い新知見を発表した功績	
6	戸田 義宏	51	九州東海大学 農学部教授	スギ科樹木の細胞遺伝子的研究により、新たな核形態上の分類を行い、生物学・林木育種学上極めて重要な学説を確立した功績	
7	杉尾 哲	52	宮崎大学工学 部教授	衛星画像を利用し、都市小河川流域の不浸透面積率を推定する手法を確立し、都市小河川の洪水制御のためのデータとして活用できることを示した功績	
8	内嶋善兵衛	67	宮崎公立大学 人文学部長	永年にわたり農業気象学及び環境科学の分野において、太陽エネルギーの利用効率向上の研究等続け、多くの領域に応用できる理論を確立した功績	
10	足立 泰二	57	宮崎大学 農学部教授	バイオテクノロジー的手法を用いソバの自家受粉系統を育成するとともに、本県農作物の遺伝・育種のレベル向上に寄与した功績	
	西 亮	65	宮崎大学 工学部教授	高層ビル等の壁面を移動し防災等に役立つロボットの研究により、国際学会において高い評価を受け、機会工学の進展に寄与した功績	
12	水光 正仁	50	宮崎大学 農学部教授	永年にわたりタンパクの硫酸化に関する生化学的研究に努め、類似の硫酸化酵素の発見と作用を中心とした研究の多岐にわたる功績	
15	酒井 正博	44	宮崎大学 農学部助教授	水産増養殖で多発する細菌性疾病の迅速診断方法や魚類の免疫機構に基づく予防法を確立した功績	

【学術部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
17	寺原 典彦	52	南九州大学 健康栄養学部 教授	植物色素アントシアニンの食品化学に関する永年の基礎的研究によって、その構造と安定化機構及び機能性の関連を明らかにし、紫甘藷アントシアニン応用食品の実用化に道を開いて、本県学術文化に貢献した功績	
	中里 雅光	50	宮崎大学 医学部教授	ペプチドの生理調節機能に関する一連の研究、中でも肥満などに起因する生活習慣病対策や創薬に繋がるグレリンの摂食亢進作用を明らかにしたことにより、本県のみならず、我が国学術文化に与えた顕著な功績	
18	陳 蘭庄	49	宮崎大学フロンティア 科学実験総合センター 助手	アポミクシス関連遺伝子の捕捉及びその導入による農作物の品種改良に関する永年の基礎的研究により、本県文化と学術水準の向上に貢献した功績	
22	菅 邦男	63	宮崎大学教育 文化学部大学院 担当教授	宮崎県の大正・昭和期綴方教育に関する資料を発掘し、教育及び文化的見地から検証した研究成果の刊行により、本県学術文化の向上発展に寄与した功績	
24	芦澤 幸二	61	宮崎大学農学 部教授	準絶滅危惧種コシジロヤマドリの人工授精に関する基礎的研究により人工増殖法を確立して、放鳥や動物園展示などの成果をあげ、県鳥への関心を高め保護活動の推進に貢献した功績	
27	原田 宏	69	国立大学法人 宮崎大学 名誉教授	永年にわたる家畜への超音波利用に関する研究に基づき、近年の本県産肉用牛及び豚における種畜の産肉能力の改良や、宮崎牛のブランド確立に貢献するなど本県畜産業の向上発展に寄与した功績	

【技術部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
5	村田 正幸	71	村田産業(株)	白マイタケの新品種を開発するとともにしいたけ乾燥技術の改良により品質の均一化・高品質化を図るなど本県きのこ産業の振興に寄与した功績	
11	林 雅弘	36	南九州大学 園芸学部 助教授	ドコサヘキサエン酸などの高度不飽和脂肪酸をクロレラ等の細胞に含有させ、水産飼料として実用化し、県の養殖漁業の技術開発に寄与した功績	
12	川野 幸三	60	(有)アトリエ ・グローバル 代表取締役	宮崎の木材を利用した木工デザインの創作活動を通じて、県産材の評価を高めるとともに、本県デザイン・技術の向上に寄与した功績	

【芸術部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
元	伊藤 一彦	46	宮崎南高校 教諭	「暝鳥記」「月語抄」「火の橋」「青の 風土記」等の歌集及び「定型の自画像」 「若き牧水」等の歌論を発表して本県文 化の向上に寄与した功績	
2	大宅 修	57	宮崎商業高校 教諭	日展での入選を重ね広く全国的な公募展 で活躍するとともに、後進の指導育成に 努め本県書道の水準向上に寄与した功績	
3	飯田 長雄	66	医 師	「霧島・日南風景帳」等郷土の風景をテ ーマに優れた作品を発表するとともに、 広く写真同好者の指導にあたるなど、本 県文化の向上に寄与した功績	
4	志垣 澄幸	58	妻 高 校 教 諭	多年にわたり全国誌に短歌作品や評論を 発表し「桜闇」「鶴の説」「夏の記憶」 「牧水百歌」等を刊行するなど本県文化 の向上に寄与した功績	
5	川口 晃	67	作 曲 家	多年にわたり合唱曲の分野で郷土にちな んだ宮崎三部作をはじめ多数の歌曲や組 曲作品を発表して県内はもとより全国的 に歌われ親しまれている功績	
	杉谷 昭人	58	宮崎県高等学 校教職員組合 執行委員長	「人間の生活―続宮崎の地名」が第41回 H氏賞を受賞するなど多年にわたる詩集 の刊行や評論活動により本県文化の振興 に寄与した功績	
6	(故) 前原 東作	享年 79	医 師	現代俳句誌「形象」を発刊し、前衛的な 俳句観をもとに顕著な創作・評論活動を 行い、全国的にも多大な影響を与えるな ど、本県文化の向上に寄与した功績	
8	田崎 力	76	医 師	写真集「たかちほ」により林忠彦賞を受 賞するなど、全国的に高い評価を得ると ともに、郷土高千穂をテーマに優れた作 品を発表し続けた功績	
10	大上 敏夫	68	画 家	日展会友や光風会会員として活躍し全 国的に高い評価を得るとともに、さらに 版画教育においても優れた成果を上げ、 本県美術の向上発展に寄与した功績	
12	杉山 昭	73	画 家	モダンアート展協会最高賞の受賞など、 全国的に高い評価を得るとともに、後進 の指導育成に尽力し、本県文化の向上に 寄与した功績	
	森 和子 (和風)	61	書 作 家	日展での入選を重ね広く全国的に活躍す るとともに、海外との文化交流や後進の 指導育成に尽力し、本県書道の向上に寄 与した功績	

【芸術部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
15	井上 宗幸 (柏鳳)	76	書 家	全国的な公募展で活躍するとともに、後進の指導育成や海外との文化交流に尽力し、本県書道界の水準向上に寄与した功績	
16	橋本 俊雄	57	県立宮崎大宮 高等学校教諭	絵画「風のシリーズ」が美術界において高い評価を受けるとともに、美術教育にも熱心に取り組むなど、本県美術の向上発展に寄与した功績	
17	金丸 厚子 (華心)	74	書 家	日展での入選を重ねるなど全国的な公募展で活躍するとともに、永年にわたり後進の指導育成に努め、本県書道文化の向上発展に寄与した功績	
18	久保 輝秋	50	画 家 九州産業大 学芸術学部 非常勤講師	郷土宮崎の大地の色と感触を原点とする作品により、全国的な美術展で受賞を重ねるとともに、県内外での芸術活動を通して、本県美術の向上発展に寄与した功績	
19	井山 忠行	71	画 家	先駆的な内容の絵画制作により高い評価を得るとともに、バリ島を拠点に、アジアとヨーロッパの文化交流を推進するなど多様な活動により、本県美術の向上発展に寄与した功績	
	貴嶋 ユミ	81	画 家	永年にわたり中央画壇で活躍し、帰郷後も郷土の風土・伝統芸能等を独自の感覚で捉えた作品により地方から文化を発信し、本県美術の向上発展に寄与した功績	
20	陣 軍陽	70	書 家	型にとらわれない大らかな調和体で、日展において特選を受賞するなど全国の書壇における目覚ましい活躍により、本県書道文化の向上発展に寄与した功績	
	松葉 一路	49	刀剣製作者	永年の研鑽で築き上げた技により、新作名刀展において日本美術刀剣保存協会長賞を受賞するという最高の評価を得るなど、本県芸術文化の向上発展に寄与した功績	
22	上杉 忠弘	44	イラストレーター	イラストレーターとして国内外で多くの作品を発表するとともに、アニメ界のアカデミー賞と呼ばれるアニメ賞を受賞するなど世界的に高い評価を受け、本県美術の向上発展に寄与した功績	
	松田 俊哉	49	国士舘大学文 学部	独自のモノクローム表現で国内外の美術展において数多くの受賞を重ねるとともに、舞台美術など幅広い芸術活動を展開し、本県美術の向上発展に寄与した功績	

【芸術部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
23	保田井 智之	55	彫刻家 東北芸術工科大学芸術学部教授	日本彫刻界の代表的な賞である ^{ひらくしでん} 平櫛田 ^{ちゆう} 中賞受賞など、全国的に高い評価を得た独創的な表現様式を切り拓いた現代彫刻家として、本県美術の向上発展に寄与した功績	
25	黒木 重雄	50	美術家 西南学院大学人間科学部教授	版画と絵画の両分野において、鋭い洞察とユーモアの混在した斬新な作品を制作し、国内外の展覧会で高い評価を受けるとともに、県内でも継続的な発表により、本県美術の向上発展に寄与した功績	
	生頼 範義	77	画家 イラストレーター	イラストレーターとして宮崎から斬新なイメージの作品を発信し続け、映画ポスターやSF小説の装丁などにより、国内外で高い評価を得、永年にわたり本県美術の向上発展に寄与した功績	
26	泰田 久史	50	陶芸家	^{たけぼえ} 「岳映」や「降臨の里」など、宮崎の自然や歴史をモチーフとした優れた作品を制作し全国的に高い評価を得るとともに、古窯の研究、後進の育成に取り組み、本県文化の向上発展に寄与した功績	
27	加藤 三男	87	画家	永年にわたり中央画壇において活躍し、幻想的で迫力のある独自の画風により多くの優れた作品を発表し続け国内外において高い評価を受けるなど、本県文化の向上に寄与した功績	
	尾崎 真理子	56	読売新聞東京本社編集局文化部部長	生まれ育った本県で児童文学と出会い、優れた文芸評論活動に取り組む中で著書「ひみつの王国 評伝 石井桃子」が第34回新田次郎文学賞を受賞するなど本県文化の向上に寄与した功績	
28	(故) 加藤 正	享年 90	画家	日本の前衛美術の旗手として、絵画と版画を中心に優れた作品制作を続けるとともに、本県において「新芸術集団フラクタス」を結成し、郷土の芸術団体や後進の育成に尽力し、本県文化の向上に寄与した功績	

【文化功労部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
元	岩尾 信夫	80	画家	永年にわたり本県美術界において指導的役割を果たしながら水彩画の普及と美術教育を通じて後進の育成に努め、本県文化の向上に寄与した功績	
	浜田ヤスヲ	89	華道教授 茶道教授	大正時代から華道に精励し県下に華道文化を普及発展させるとともに、茶道においても精進を続け本県文化の向上に寄与した功績	
2	^{すずき} 鱸 利彦	96	画家	永年にわたり中央画壇において活躍するとともに、数多く宮崎の風土を描き県の内外に紹介するなど、美術を通して本県文化の向上に寄与した功績	
3	^{みろく} 弥勒 祐徳	72	画家	永年にわたり郷土に根ざした風物を描き続けるとともに、後進の指導や著述等を通じ本県美術の振興と伝統文化の保護啓発に寄与した功績	
4	田崎 松代	80	俳人	永年にわたり本県俳壇の女流作家として後進の指導にあたり第五句集「独り言」を出版するなど本県文化の向上に寄与した功績	
5	日高 正晴	70	西都市西都原古墳研究所長	永年にわたり全国的にも貴重な文化財である特別史跡西都原古墳群をはじめ県内史跡の保存整備と顕彰活動に尽力し本県文化の向上に寄与した功績	
6	有川 サチ子	55	宮崎女子高等学校教諭	永年にわたり合唱指導に努め、常に全国コンクールに上位入賞を果たすとともに、本県高校合唱を全国の頂点に導き、本県音楽文化の向上に寄与した功績	
	市山 幸作	89	旭化成工業(株)延岡支社旭友会顧問	永年、郷土の研究に努め、内藤政挙公伝など多くの著述をとおして先賢の顕彰に尽力するとともに、延岡戦災史をまとめ、本県文化の向上に寄与した功績	
9	永江 明夫	82	企業組合東郷織物工場理事長	新たな技術開発により宮崎独自の風合いをもつ現代薩摩緋や草木染大島を創作し、全国的に高い評価を受け、永年にわたり染織工芸の振興に寄与した功績	
	中山 正道	80	都城文化協会副会長	永年にわたり文芸誌「笛」の編集発行に携わるとともに、「宮崎県の作家」をはじめ優れた文学評論等を発表し、本県文芸の振興に寄与した功績	
	山室 良一	98	大人歌舞伎保存会	全国的にも貴重な大人歌舞伎をはじめ地域芸能を永年にわたり演じるとともに、指導者として後進の育成に努め、その保存・伝承に尽くした功績	

【文化功勞部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
10	原田 解	66	原田企画代表	永年にわたり郷土民謡を緻密に調査研究し、放送や執筆活動を通じて県内外に紹介するなど、本県民俗芸能の普及・保存に努めた功績	
12	高橋 政秋	68	作詞作曲家 日本民俗音楽 学会会員	永年にわたり地域の歌を多数作詞作曲するとともに、県内各地のわらべ歌や子守歌を採集・採譜し、本県文化の向上に寄与した功績	
	目野 順也	69	画家 二科会会員	永年にわたり二科会会員として優れた作品を発表するとともに、二科展宮崎展の開催に尽力し、本県文化の向上に寄与した功績	
	矢野 一誠	70	宮崎県演劇協 会会長	永年にわたり本県演劇界において指導的役割を果たしながら、演劇の普及と後進の育成に努め、本県文化の向上に寄与した功績	
13	谷 道夫	66	男声四重唱団 デューク・エ ーセス リー ダー	男声四重唱団「デューク・エーセス」を結成し、全国的に活躍する中で「フェニックス・ハネムーン」等を紹介し、永年にわたり各地で演奏や講演を行うなど、本県文化の振興に寄与した功績	
	西田 玄豊	70	日展会友・読 書書法会理事	広く全国的な公募展で活躍するとともに、永年にわたり本県書道界において指導的役割を果たすなど、本県文化の振興に寄与した功績	
	野辺 堅太郎	75	都城文化協会 会長	永年にわたり「にしき江・都城歌会」を通じて短歌の振興に努め、歌集を上梓するとともに、「みやこんじょ讃歌」を企画公演するなど本県文化の振興に寄与した功績	
14	坂口 伊佐男	79	宮崎県水彩画 会会長	永年にわたり郷土の風景を題材に優れた創作活動を続けるとともに、本県水彩画会において指導的役割を果たし本県文化の向上に寄与した功績	
15	黒木 和雄	73	映画監督	永年にわたり日本映画界において活躍するとともに、映画「美しい夏キリシマ」ではえびの市でのオールロケを行うなど、映画を通し本県文化の向上に寄与した功績	
16	黒木 國昭	59	ガラス工芸作 家	永年にわたり、ガラス工芸分野で精力的に活躍し、国内外で高い評価を受けるとともに、多くの後継者の育成に努めるなど、本県文化の向上発展に寄与した功績	

【文化功勞部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
16	見山 靖代	66	宮崎県オペラ協会会長	永年にわたり、県内各地での公演を通じて、オペラの普及に尽力するとともに、オペラ「鬼八」を芸術監督として成功に導くなど、本県文化の向上発展に寄与した功績	
17	秋山 眞和	64	綾の手紬染織工房主宰	貝紫による染織の成功など染織工芸技術の研鑽に努めるとともに、多くの後継者を育成するほか、地域産業の振興に大きな役割を果たし、本県文化の向上発展に寄与した功績	
	永野 賢一	72	宮崎シティフィルハーモニー管弦楽団長	永年にわたり、宮崎ジュニア・オーケストラの育成に努めるとともに、市民オーケストラの結成に尽力するなど、指導者として本県音楽文化の振興発展に寄与した功績	
18	青木 賢児	73	(財)宮崎県立芸術劇場理事長 宮崎国際音楽祭総監督	宮崎国際音楽祭の創設に尽力するとともに、国内のみならずアジアで高い評価を受け、県民に親しまれ誇りとなる音楽祭に育てるなど、本県文化の向上発展に寄与した功績	
	永田 法順	71	僧侶(長久山浄満寺住職)	永年にわたり貴重な日向盲僧琵琶の研鑽・継承に努め、質の高い琵琶奏法を確立し、演奏活動を通じて全国的に高い評価を受けるなど、本県文化の向上発展に寄与した功績	
	廣島 一夫	91	伝統工芸士(竹細工)	永年にわたり本県の代表的な民具である竹細工の伝統技術を研鑽し、国内外で高い評価を受けるとともに、その保存・継承に努め、本県文化の向上発展に寄与した功績	
19	石井 秀隣	73	前高鍋町美術館館長 画家	永年にわたり画家として優れた実績を重ねるとともに、全国でも数少ない町立美術館の企画・運営に尽力し、国内外の芸術性の高い作品の鑑賞機会を提供するなど本県文化の向上に寄与した功績	
	甲斐 亮典	78	宮崎県文化財保護審議会会長	永年にわたり本県の歴史研究に尽力し、文化財保護推進、若手研究者育成、歴史ガイドボランティアの養成等多面にわたる活動により、本県文化の向上に寄与した功績	

【文化功勞部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
20	中村 美智子	82	宮崎県華道協和会会長	華道各流派の交流を促進し相互の研鑽を深めながら、指導者の育成や技術向上を図るなど、永年にわたり本県華道文化の向上発展に寄与した功績	
	山口 保明	70	宮崎県民俗学会会長	永年にわたる民俗事象の調査研究及びその成果をまとめた著作などにより、本県民俗学界の中心としてその向上発展並びに本県文化財の保護継承に寄与した功績	
21	岡 正 しゅうざん (舟山)	86	財団法人都山流尺八楽会相談役	都山流尺八の普及発展に努めるとともに、宮崎三曲会の中心として、尺八、箏、三絃の指導者の交流育成に取り組むなど、永年にわたり本県伝統芸能の発展に寄与した功績	
	村岡 純秋	74	都城市山之口麓文弥節人形浄瑠璃語り太夫	山之口麓文 ^{ぶんやぶし} 弥節人形浄瑠璃の語り太夫として卓越した技能を發揮するとともに、人形浄瑠璃の保存、伝承及び後継者育成に努め、永年にわたり本県伝統芸能の発展に寄与した功績	
	二宮 勝憲	66	洋画家 宮崎県美術協会会長	永年にわたり重厚な画風による優れた創作活動を行うとともに、美術団体の運営に尽力し、県美術界において多くの後進を育成するなど、本県芸術文化の向上に寄与した功績	
	鈴木 素直	79	宮崎県環境保全アドバイザー	野鳥の民俗学的調査をまとめた著作をはじめとし、自然保護啓発活動など、多彩な取り組みにより、永年にわたり本県文化の再発見及び地域文化の向上に寄与した功績	
23	南 邦和	78	詩人（宮崎詩の会会長）	永年にわたり本県詩壇の中心的役割を果たすとともに、作家活動の集大成ともいえる「故郷と原郷」を刊行するなど、幅広い分野における創作を通じて、本県文化の向上に寄与した功績	
24	福富 健男	76	俳人 宮崎県現代俳句協会顧問	独自の感性による優れた作品を発表し、俳壇の中心として現代俳句の振興に尽力するとともに、幅広い評論活動を通して、本県文化の向上に寄与した功績	
	三戸 サツエ	97 幹	元京都大学霊長類研究所付属幸島野外観察施設非常勤講師	永年にわたる幸島の野生ザル生態研究において克明な観察による様々な発見を通して霊長類学の進展に貢献するとともに、自然保護活動に力を尽くし、本県文化の向上に寄与した功績	
	片山 謙二	71	宮崎県合唱連盟理事長	本県高等学校の合唱部を全国有数のレベルに育成し全国一に導くとともに、永年にわたり県合唱界の中心として、本県音楽文化の向上発展に寄与した功績	

【文化功労部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
25	上野 登	87	宮崎大学名誉教授 てるはの森の 会顧問	経済地理学という新しい学問分野に取り組み、自然保護及び環境問題において指導的役割を果たし、綾ユネスコエコパーク登録に向けての幅広い活動等、永年にわたり本県文化の向上に寄与した功績	
26	川口 敦己	70	出版企画・編集者 鉦脈社代表取締役社長	永年にわたり卓抜した企画力で「みやざき文庫」など郷土の文学、民俗、歴史を県内外に広く発信するとともに、県内の創作・研究活動の活性化に尽力し、出版を通じて本県文化の向上発展に寄与した功績	
27	待木 美恵子	84	日本民踊舞踊協会 会長	古くから歌い踊られてきた本県の民踊を全国に広く紹介するとともに、「サンバいもがらぼくと」に代表される新たな作品の振付けや、後進の指導に永年にわたり尽力するなど本県文化の発展に寄与した功績	
28	中村 禎子	76	合唱指揮者 宮崎市芸術文化連盟会長	「宮崎はまゆうコーラス」を創設し、指揮者として全国的水準に指導育成するとともに、永年にわたり県内合唱団体の活動・交流・発展に尽力するなど、本県音楽文化の向上に寄与した功績	
	鶴ヶ野 勉	77	「しゃりんばい」 編集委員長 「遍歴文学会」 編集委員	永年にわたり小説を中心に創作活動を続け、南九州の農山村を舞台とする地域に根ざした作品が県内外で評価されるとともに、自分史講座など幅広い文章作りの指導を通して本県文芸の発展に寄与した功績	

【体育部門】

※年齢、所属等は受賞時点

年度	氏名	年齢	所属等	授賞理由	備考
5	森本 辰雄	65	宮崎市林政相談員	県山岳会・協会の組織化に尽力するとともに多年にわたる記述等をとおして宮崎の山々を全国に紹介するなど本県スポーツの普及・振興に寄与した功績	
7	菊地康太郎	57	都城工業高等専門学校教授	指導者として全国高等専門学校ラグビーフットボール大会において全国最多の5回の優勝に導き、陸上競技選手として多年にわたり活躍し、本県スポーツの向上に寄与した功績	
9	宗 猛	44	旭化成陸上部副監督	国際的な長距離走ランナーとして数々の優秀な成績をあげるとともに、指導者として多くの優れた選手を育てるなど本県及び日本陸上競技界に貢献した功績	
11	(故) 吉本 政美	享年 50	(財)宮崎県体育協会事務局長	永年にわたり剣道の指導育成に努め、県立高千穂高等学校剣道部を数々の全国大会優勝に導き、特に全国高等学校総合体育大会では史上初の男女とも優勝を成すなど、本県体育の向上発展に寄与した功績	
22	甲斐 国征	67	一般社団法人延岡市体育協会副会長	永年にわたり日本伝統武道の保存継承や国際的な普及に情熱を注ぐとともに、地域のスポーツ振興に尽力するなど、本県体育の向上発展に寄与した功績	
26	黒岩 正春	82	高鍋ラグビースクール校長	永年にわたり高等学校ラグビーフットボールの振興に努め全国水準に高めるとともに、多くの指導者を育て、ラグビースクールを通じて青少年の育成に情熱を傾けるなど、本県体育の向上発展に寄与した功績	